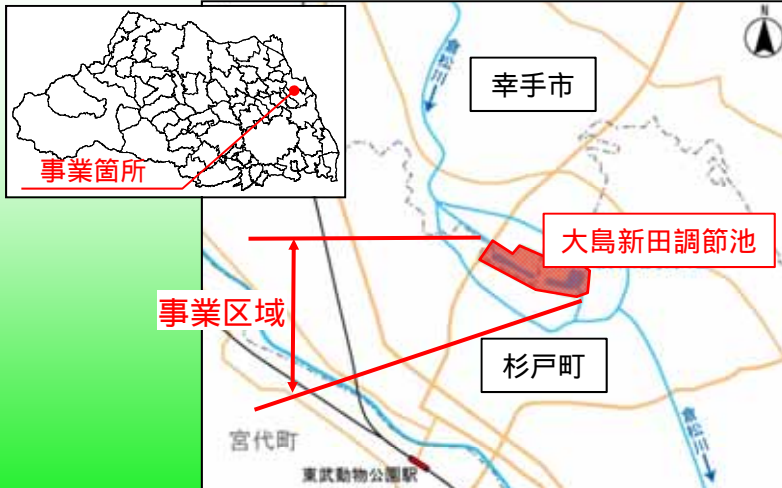




位置図



事業概要

開始年度	平成22年度
事業延長	大島新田調節池
事業内容	遊歩道 L= 3,100m
	遊歩道休憩箇所 12箇所
	ビオトープ整備 1箇所
	休憩施設 一式
	木陰整備 5箇所

地域の声

季節の移り変わりを感じながら散歩できるようになった。
トイレが整備され、助かっている。

事業経緯

大島新田調節池水辺再生検討会

- ・第1回 (H22.6.25)
- ・第2回 (H22.7.28)
- ・第3回 (H22.9.30)
- ・第4回 (H23.1.25)

測量・設計 (H22.5 ~ H23.3)

工事 (H23.9 ~ H24.3)

検討会メンバー

幸手市・杉戸町自治会、大島新田グラウンド開放運営委員会、河川愛護団体連絡会、幸手市、杉戸町、県



地域活動

- ・地元自治会が花畑の手入れ・維持管理を実施
- ・地域住民、市民団体がゴミ拾いを実施

整備の状況



整備前



整備後

排水機場から見た調節池 (H21.7撮影)

浮島とビオトープを整備 (H24.11撮影)

- ポイント①: 水辺環境の保全
- ポイント②: 水辺環境に親しむ
- ポイント③: 水辺を眺める、憩う

★: ビューポイント

平面図



◎ 水辺を眺める、憩う

- ①遊歩道の舗装、②アクセス性の向上、③管理橋の開放、④路面標示

•水辺を眺めながら散策できるよう、大島新田の堤防天端道路に舗装を行うとともに、道路と天端道路のアクセス性を向上させるため、階段、スロープ等の接続路の整備を行いました。
 •また、排水機場付近の管理橋も一般へ解放しました。
 •散策を促進するため、歩いた距離が確認できるよう、路面に距離表示をしました。



◎ 水辺環境に親しむ

- ⑤ベンチの設置、⑥木陰のベンチの設置、⑦トイレ設置場所の整備、⑬花畑基盤整備

•散策の途中に休憩ができる場所として、堤防の一定区間ごとにベンチを設置しました。また、グラウンド付近に植樹とベンチの設置を行いました。
 •さらに、散策利用者及び環境学習利用者が利用するトイレを設置しました。
 ※幸手市・杉戸町整備
 •ビオトープの背後の広場は、憩う場として、花畑を造ることができるよう、耕耘とヨシ等の除去を行いました。



◎ 水辺環境の保全

- ⑧ビオトープの整備、⑨島状の場所の整備、⑩観察路の設置、⑪休憩場所の整備、⑫生物に関する説明看板の設置

•水辺の植物を利用する生物の生息の場を増やすため、ビオトープとなる浅い水辺箇所を創出しました。また、鳥や魚のすみかとなる島状の箇所をビオトープ内に整備しました。
 •地域の子供たちの環境学習や散策の場として、観察路、生物に関する看板、休憩場所(木陰とベンチ)を設置しました。
 •観察路は調節池の水位に応じて2種類の高さを観察できるようコースを設定すると共に、水際に近づくための階段を設置しました。また、集合等ができる場として一部の舗装幅を広くしました。

